令和6年度予算編成に向けた要望書を提出

区議会公明党は、区民の皆様からお寄せいただく ご要望や、調査研究の中から重点要望10項目を含む、 計321項目からなる令和6年度予算に対する要望書 を作成し、10月5日に鈴木区長へ提出いたしました。 政策の実現に向け、11名が団結をして鋭意取り組ん でまいります。



重点要望

- ① 小中学校における給食費の無償化を令和 6 年度も継続すること および財源確保に向けて国や都への働きかけを続けること
- ② 保育園の入転園申請の完全電子化を進めること
- ③ 学齢期前の発達障がい児の療育事業をさらに拡充すること
- ④ 学童保育の保留児対策を早急に進めること
- ⑤ スペシャルサポートルームの全小中学校設置を目指し、拡充すること
- ⑥ スクールソーシャルワーカーの全中学校への常駐配置 およびエリアマネージャー配置を目指し、拡充すること
- ⑦ ふるさと納税による財源流出への対策を進めること
- ⑧ 特定健診の受診率向上対策としてインセンティブの付与を検討すること
- ⑨ 空家等を活用して高齢者向け住宅を確保すること
- ⑩ 個別避難計画作成のロードマップを示すとともに、早期作成を進めること

自転車ヘルメットの購入費助成 今和6年3月末まで

本年4月の道路交通法改正により、自転車利用者に努力義務化されたのがヘルメットの着用です。区議会公明党としても要望活動を行ってきた結果、ヘルメットの購入費一部助成が7月より始まりました。 ぜひこの機会を通じて、ヘルメットの購入をご検討ください。

助成 ヘルメット 1人につき1個、2,000円(1回のみ)

金額 ※対象店での購入が条件となります。 詳細は、こちらをご覧ください→





では、インフルエンザ予防接種の費用助成が決定!

今年は、インフルエンザの流行が特に懸念されています。インフルエンザの予防接種費用の助成が、本年も実施されます。期間は、10月1日から令和6年1月31日まで。

■高齢者向け:自己負担なし

65 歳以上または 60 歳以上 65 歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能障害及びヒト免疫不全による免疫機能障害で身体障害者手帳 1 級相当の障害を有する者を対象

■小児向け:1回あたり1,000円を区が負担

生後6か月以上13歳未満:2回分、13歳以上15歳以下(中3相当):1回分





先端と文化を発信する複合施設

詳しくはこちら→



羽田イノベーションシテイ(略称: HICity)

2023.11.16(*) グランドオーブン

京急空港線・天空橋駅直結。研究開発施設・オフィス、先端医療センター、イベントホール、宿泊施設、日本文化体験施設、飲食施設などを中心とした多彩な施設が集積。「この街を訪れるすべての人に、イノベーションを」をコンセプトに、国内外のヒト・モノ・情報がフラットに集まり、交流が生まれ、新たなビジネスやイノベーション創出の拠点となることを目指します。



山積する課題に対し、ダイナミックな発想で政策立案を行い、持続可能な区政運営を!

大田区議会 令和5年 第3回定例会が開催されました。

9月14日から10月12日までの会期で、令和5年 大田区議会 第3回定例会 が開かれ、代表質問に 小峰由枝 議員、一般質問に 椿真一 議員・田村英樹 議員がそれぞれ登壇。



内容については、ホームページで

各委員会では議案審査、請願・陳情審査、また令和5年度補正予算の審査 が行われました。主な質問の内容は、以下の通りです。



小峰 由枝 議員

ピックアップ 地域力を結集し、共生社会の実現を!

コロナ禍の4年間で孤立化が進み、特に子ども・障がい者・高齢者においては様々 な課題が顕在化しました。本格的な少子高齢化を前に即効性のある対策が求め られ、「支え合い」の原点ともいうべき「地域力」の重要性を訴えさせていただき ました。

(質問項目)①令和4年度決算について ②庁内DXについて ③防災船着場について ④東京都パートナーシップ宣誓制度について ⑤SDGsの取り組みについて ⑥羽田イノベーションシティの取り組みについて ⑦認知症基本法と地域共生社会について ⑧まちづくりについて ⑨教育について



ピックアップ子ども達を取り巻く環境を福祉面から整え、 支援を行い、安心して学べる環境を!!

学校だけでは子ども達の問題解決に限界があります。子ども達の状況を敏感にと らえ、家庭など子どもを取り巻く環境に対し、福祉的な知識や経験が豊かなスクール ソーシャルワーカーを全中学校への常駐配置と、各地域にエリアマネージャーを 配置し、ワーカーのスキルアップやバックアップ体制を強く求めました。

(質問項目) ①スクールソーシャルワーカーの活用について ②ベビーシッター利用支援事業、一時預かり利用支援について

一般質問



田村 英樹 議員

ピックアップ 聴こえのバリアを持つ方々への情報保障の取組について

本区が行うタブレット端末を介した遠隔手話通訳サービスについて、利用者の個人 情報の守秘や相談窓口での利便性を鑑み、タブレット端末を増設し複数の窓口への 設置を要望しました。また、手話講習会受講者の方々へのボランティア登録や定期的 なワークショップを開催するなど、具体的な活動について提案・要望しました。

「質問項目」

①生活福祉事業について

②聴覚障がい者支援について ③アスベスト対策について

決算特別委員会が開催され、令和4年度決算を認定しました。

決算特別委員会では、大橋 武司 議員が副委員長に就任し、令和4年度 一般会計および各特別会計決算 について、6日間にわたる活発な質疑が交わされ、賛成多数で認定しました。

- 田島 和雄 議員

ピックアップ ポストコロナ時代の持続的で安心・魅力ある おおたを目指して

財政運営がコロナ禍の緊急的なものから平時に移行していく中で、「SDGs 未来都市」 と「自治体SDGsモデル事業」にW選定を受けた大田区にとって、魅力的で安心して暮ら せるまちを目指すほか、持続的な自治体運営をどのように進めるのか質問しました。



「質問項目」①令和4年度決算について ②入札について ③基金運用について ④大規模改修について ⑤SDGsについて ⑥中小企業のデジタル化、DXについて ⑦水防活動拠点整備や防災について ⑧羽田グローバルウイングズについて 9GIGAスクールと児童の安全について

しめくくり総括質疑 ----- 小峰 由枝 議員

ピックアップ 精神疾患の方へ寄り添いの支援を!

コロナ過を経て、精神疾患の方を取り巻く環境は深刻化・複雑化しており、支援内容も多岐に渡りますが、 現場では適切な支援に繋がれていない実情が散見されます。精神疾患の方に普段から関わっている保健師 が「他の支援に繋げる力を磨くこと」が重要であり、所管を超えた連携を要望しました。

質問項目 ①区内企業の支援について ②精神疾患の方への支援について ③発達障がい児の支援について

大田区役所本庁舎が、ブルーに染まる! なぜ・・・?

9月23日に、大田区役所がブルーにライトアップ されました。この日は、「手話言語の国際デー」となっています。 ており、世界ろう連盟では、この日に合わせて、世界 平和を表す青色のライトアップを呼びかけ、世界・ 市民・地域社会がSNSでつながり、各国の手話言語 を尊重し合い、世界中のきこえない・きこえにくい人 と、きこえる人がひとつとなることを目指しています。

大田区では令和2年に「大田区手話言語及び障害 者の意思疎通に関する条例」を制定し、手話が言語 であることの理解促進やそれぞれの障がいの特性に 応じた意思疎通手段の利用を促進することにより、 障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を れたものです。

尊重し合いながら共生する地域社会の実現を目指し

また2025年は、世界規模で行われる聴覚障がい者

のための総合スポーツ競技 大会である 「夏季デフリン ピック競技大会東京2025」 が東京で開催されます(区 内では、バスケットボール・ ビーチバレー競技を開催)。 この機運醸成の意味も込め、 今回のライトアップが行わ





議会運営副委員長

交通政策調査特別副委員長

シティプロモーション スポーツ調査特別委員長



総務財政副委員長









健康福祉委員 防災安全対策特別委員



弁護士による無料法律相談のご案内

第1・第3木曜日の午後2時より、区議会公明党控室で開催。 当日正午より予約受付(☎03-5744-1488)を行っております。 ★必ずご予約の上、お越し願います。

http://www.komei-ota.jp





